

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

団体名	風布川・日本水名水保存会（寄居町）	
DATE	代表者	坂本 廣久（さかもと ひろひさ）
	事務局及び情報誌等の送付先	坂本 賢藏（さかもと けんぞう） 〒369-1235 寄居町大字風布215-1 TEL 048-581-5803
	構成員	大字風布及び金尾地域（以下、「当地域」という。）の住民が選出する30世帯（男30人 女25人）で役員を構成している。
	活動日	4月から12月まで毎月1回及び、必要なときには随時活動
	活動場所	日本水（やまとみず）源泉付近から風布川（ふうぷがわ）流域約7kmの川、その沿道、遊歩道及び周辺や当地域内の森林
	情報誌	発行していない
設立のきっかけ	古くから雨乞いなどの霊水として広く知られていた日本水と、清澄な風布川が全国名水百選に選定されたことを契機として、それまで保全活動の主体だった観光協会風布・金尾支部から風布川・日本水保存会（以下、「保存会」という。）を独立させて立ち上げた。	
活動の内容	<p>住民に親しまれ良好に保全されていることを理由に全国名水百選に選定されたことから、日本水源泉、風布川流域及び金尾五井戸（かなおごいど）の周辺を含めた保全を保存会の基本的な役割と捉え、当地域の住民を代表する役員全員で水質の保全と環境美化に取り組むことを設立時に確認して実践してきた。</p> <p>具体的には日本水源泉への水汲み客や風布川での川遊び客が増加するなか、川の倒木整理、沿道の草刈りやゴミ拾い、不法投棄対策を行うほか、山岳コースである源泉に続く遊歩道や山道の補修、案内板の設置などで来訪者の安全確保対策を行ってきた。</p> <p>また、源泉付近から導水して水汲みに供している水道施設の管理（所有）者に対し、源泉周辺の清掃などに側面から支援をしているほか、地元住民に対する「守るべき地元の誇り」としての名水の価値や、自然環境を守ることの重要性を啓発している。</p>	
エピソード	<p>名水選定以来、春から秋まで風布川での川遊びが家族連れで大賑わいしている。水がきれいで水深が浅く、小さな子どもでも安全に遊べるのが人気で、夏休みの日曜日は一日で500人?くらい来ているかも。孫の小学生を連れて夏休み中毎日のように遊びに来ているおじいさんとおばあさんも居た。</p> <p>日本水の源泉付近は現在立ち入り禁止になっている。それは、平成13年に隣町の国指定史跡長瀬岩畳で岩盤が崩れ高校生が足を挟まれて足首を切断せざるを得なかった事故が発生し、日本水も百畳敷岩と呼ばれる大きな岩盤から湧出しているため崩落による事故を危惧して、寄居町と保存会で残念ながら禁止したものである。</p> <p>源泉付近に立ち入れないこともあり、その近くから導水している水汲み場が大賑わいで、休日は行列になっている。</p>	
今後の計画目標	水源を守ることは自然や森林の保全なしには有り得ず、そのことが下流の都市住民の生活用水確保と温暖化対策につながるものと捉え、今後も「守るべき地元の誇り」として、弛まず、焦らず、背伸びせず、地味な活動を継続して次の世代へつなげていきたい。	
年間行事	4月	数千人が参加するハイキング大会の休憩所で日本水を無料提供
	5月～12月	毎月1回、風布川沿いの車道・遊歩道及び源泉周辺のゴミ清掃
	12月	新年を迎えるため、源泉の「日本水大神」のしめ縄の取り換え
	春～秋	風布川、沿道及び遊歩道等の草刈り、当地域内の森林整備
これまでの歴史	昭和60年3月	全国名水百選に選定されたことから、それまで保全活動の主体だった観光協会支部から保存会を独立させて立ち上げた。同時に5月5日を「名水の日」と定め、「名水まつり」を近年まで2年に一度程度実施してきた。
	平成3年	全国水環境保全全国協議会総会及び研修会が寄居町で開催され、保存会は側面から町へ運営の協力をした。
	平成4年～	全国水環境保全全国協議会総会及び研修会へ2年に一度程度参加。
	平成13年～22年	サイサン環境保全基金助成金約2,200万円弱を受けて、風布地内の森林整備を実施。
	平成28年	役員若返りのため、77歳定年を導入
団体PR	<p>「出会い、ふれあい、交流を目指します」</p> <p>保全活動へ参加することで従事する人達に使命感を育むと同時に、喜びや誇りを与えてくれます。ここに住んで共に暮らし、訪れる人々と出会い、ふれあい、交流しながら地域づくりに取り組む団体として今後も頑張りますので応援をお願いします。</p>	